

アゾキシストロビン剤（アミスター20フロアブル）とクレソキシムメチル剤（ストロビーフロアブル）によるイチゴうどんこ病の防除

園芸試験場

1 取り上げた理由

イチゴうどんこ病に対する新しい系統の薬剤として、アミスター20フロアブルとストロビーフロアブルの実用性について検討した結果、対照薬剤（ポリオキシシリンAL水和剤）に比べ高い防除効果が認められたので、参考資料とする。

2 参考資料

1) 薬剤名 アゾキシストロビン剤（商品名：アミスター20フロアブル）

- a 有効成分：アゾキシストロビン 20.0%
- b 製剤（外観）：淡褐色水和性粘稠懸濁液体
- c 毒性：普通物，魚毒性 B類
- d 安全使用基準：収穫前日まで，3回以内
- e 使用時期：生育期
- f 使用濃度：1,500～2,000倍
- g 使用方法：散布

2) 薬剤名 クレソキシムメチル剤（商品名：ストロビーフロアブル）

- a 有効成分：クレソキシムメチル 41.5%
- b 製剤（外観）：類白色粘稠懸濁液体
- c 毒性：普通物，魚毒性 B類
- d 安全使用基準：収穫前日まで，3回以内
- e 使用時期：生育期
- f 使用濃度：3,000～5,000倍
- g 使用方法：散布

3) 対象病害虫

- a イチゴうどんこ病

3 利活用の留意点

- 1) 散布液調整の際は，容器をよく振り，本剤の所要量を徐々に加えること。
- 2) アミスター20フロアブルとストロビーフロアブルは同一系統の薬剤のため，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，連用は避け，なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用する。
- 3) アミスター20フロアブルは高温時に散布すると葉に褐点の薬害が生じる場合がある。また，ケルセン乳剤との混用や近接散布（14日以上散布間隔をあける）でも薬害が生じる場合がある。
- 4) イチゴの他病害に対する登録内容
 - a アミスター20フロアブル：炭疽病（2,000倍）灰色かび病（1,500倍）
 - b ストロビーフロアブル：なし

（問い合わせ先：園芸試験場環境部 電話022-383-8132）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間 新農薬による病害虫防除 平成7年～10年

2) 参考データ

表-1 イチゴうどんこ病に対する防除効果1 (平成7年)

供試薬剤	調査小葉数	発病小葉率	薬害
アミスター20フロアブル	180	1.9%	—
※ポリオキシシリンAL水和剤	180	17.0	—
無散布	180	64.6	

※対照薬剤

表-2 イチゴうどんこ病に対する防除効果2 (平成10年)

供試薬剤	調査小葉数	発病小葉率	薬害
ストロビーフロアブル	1125	8.3%	—
※ポリオキシシリンAL水和剤	1125	11.4	—
無散布	1125	50.7	

※対照薬剤

※アミスター20フロアブルの参考価格は250mlで4,000円前後

包装単位は250mlの1種類

※ストロビーフロアブルの参考価格は500mlで8,000円前後

包装単位は100ml, 500mlの2種類

3) 発表論文等

なし